

佐渡市



誕生

夢と希望に向かつて

走り出した

佐渡市

午前7時、小田初太郎・佐渡市長職務執行者から課長、支所長職の職員に辞令が交付され、午前8時30分までに本庁、各支所の全職員に辞令が交付されました。

午前8時からは、本庁、各支所それぞれで「開庁式」が行われ、小田初太郎・佐渡市長職務執行者は、「7万2000人の島民の福祉向上のために、心をひとつにして全職員の知恵を結集し、この島づくりに協力してほしい」と力強く式辞を述べました。その後、銘板の除幕、会場を庁舎1階の市民課前に移して電算システム稼働式を行い、くす玉開帳とテープカットで、佐渡市役所をスタートさせました。

各支所の開庁式では、支所長から訓示があり、開庁を前に、これからの佐渡市の住民福祉と産業、住民自治発展のために力を尽くそうと、職員は心を引き締めていました。



佐渡市長職務執行者あいさつ



佐渡市長職務執行者
小田 初太郎

れ築いてきた歴史の次ページに新たな1ページが刻まれます。

佐渡市は、面積が約855平方キロメートル、人口が約7万2000人の行政規模となり念願の一島一市が実現いたしました。本庁舎は金井地区に設置し、議事事務局については佐和田地区、教育委員会については両津地区とし、9支所5出張所の体制でのスタートとなりました。

平成16年3月1日、新潟県西津市、佐渡郡相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町及び赤泊村の10か市町村が新設合併をし、新生「佐渡市」が誕生いたしました。明治そして、昭和の大合併以来それぞれ

平成11年6月でございます。以後、合併の必要性を認識し本格的な審議に入り、13年6月には島内10か市町村による佐渡市町村合併検討協議会（任意協議会）を立ち上げ、その後佐渡市町村合併推進協議会を設置しました。以来、計画の策定、合併協議項目を協議し、法定協議会である佐渡市町村合併協議会を15年1月に設置し、同年6月、合併協定書の調印、廃置分合の市町村議会議決を経て、同年11月4日、佐渡市設置が官報に告示され、冒頭のとおり合併が決定されました。

数多くの合併調整項目がございましたが、各市町村議会議員、住民の方々からご理解をいただきながら、一つの市となりましたこと

は誠に感慨深いものがあります。これはまた一市としての島民一致団結の礎となることと存じます。

少子高齢化による人口の減少、緊迫する自治体の財政状況を乗り越えていくため、多様化する住民ニーズに対応し、広域的な視野に立ったまちづくりを推進するために必要な器が出来上がりました。これからは地域のこと、佐渡市のこと、さらには日本、地球規模の将来を見据えながら明るい未来を築いていくことが必要とされます。微力ながら活力ある心豊かなふるさとづくりに邁進していく所存でございます。皆様には、今後とも更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。